

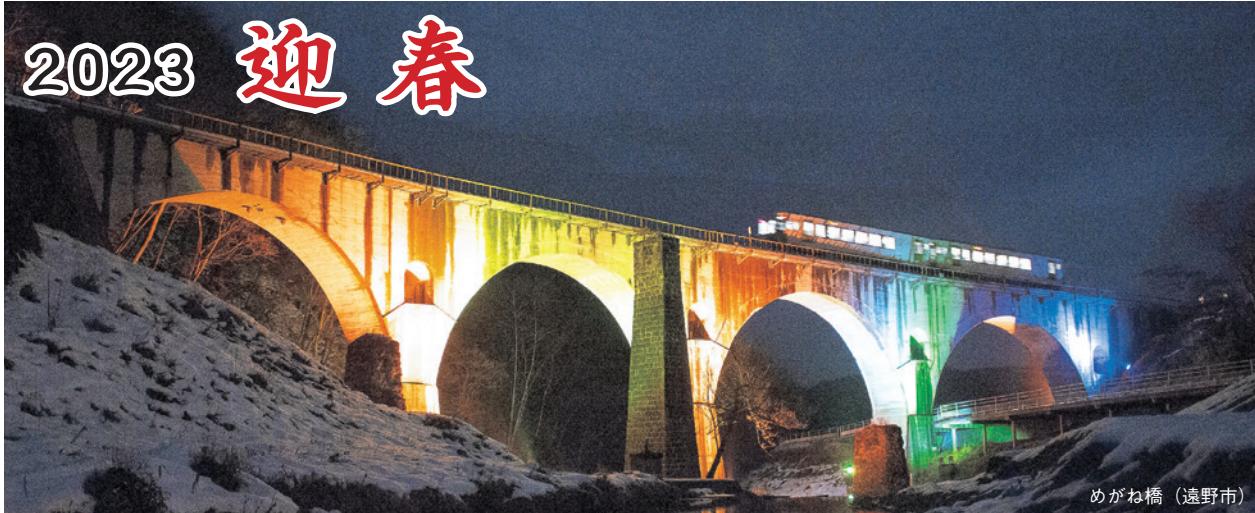
岩手労福協

発行

(一社)岩手県労働者福祉協議会
盛岡市大通1丁目1-16 岩手教育会館3F
TEL (019) 654-3082

発行責任者 佐々木秀市
編集責任者 菅野 健司

No.167 2023年1月12日発行



2023年 支え合いの連帯社会をめざして

一般社団法人岩手県労働者福祉協議会

会長 佐々木 秀市

新年明けまして、おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延から3年が経過しました。この間、多くの人が不安を抱えながらも、社会・経済活動が継続できるよう、日夜感染防止対策に尽力されてきたすべての働く仲間の皆様に、あらためて敬意と感謝の意を表します。

また、昨年も対面による活動が自粛せざるを得ない状況の中、各構成団体及び各地区労福協の方々のご協力によって、労働者福祉事業を推進することができましたことに、感謝を申し上げます。

さて、昨年は世界中の人々がコロナ禍の中で、懸命に困難な状況から脱しようと力を合わせている最中に、ウクライナへの侵攻という新たな悲劇が生まれてしまいました。ウクライナだけではなく、いま、世界では紛争に苦しむ地域がいくつもあります。そしてそのほとんどの場合、子どもや女性、高齢者、障害のある人、社会的・経済的に弱い立場の人、少数民族等いわゆるマイノリティに属している人々が、より大きな被害を被っています。人類が社会を構成するようになって数千年が経ちます。これまで幾度となく紛争を繰り返し、その都度、二度と過ちを繰り返さないことを誓い合ったにもかかわらず、未だに武力を振りまわし、一人ひとりの人権を破壊しているこの事態を、各国の為政者はどう考えているのでしょうか。

視点を国内に向けますと、私たちの身边には貧困や格差、働き方等の問題があり、今後人口減少が進めば、その問題は更に深刻化すると予想されます。そういった今だからこそ「福祉は一つ」で始まった労働者福祉の精神を、すべての働く人とその仲間・家族で理解し合い、受け継いで行く時ではないでしょうか。いつの間にか私たちの意識下に置かれてしまった過度な自己責任論や競争主義を見直し、人間同士が支え合う連帯社会に転換することによって、様々な困難に対して勇気を持って立ち向かうことができるのではないかでしょうか。一日でも早くそういった社会となることを求め、労福協運動を進めていこうではありませんか。

結びに、本年も岩手労福協運動へのご支援をお願いしつつ、皆様のご多幸をお祈りし、新年のご挨拶といたします。



2023年年頭挨拶
労働者福祉中央協議会
会長 芳野友子

新年明けましておめでとうございます。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大による経済・社会・国民生活への影響は現在も続いている。世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻による平和問題や物価上昇、気候危機など、先行き不透明な状況に置かれています。一人ひとりが意識を変え、小さなことでも行動に移していくことが必要です。「誰ひとり取り残さない」包摶的で持続可能な社会を実現するために、取り組みを進めていきましょう。

私たちは今、目まぐるしく状況が変化する社会の中で、様々な課題への対応に迫られています。これまでの運動で培ってきた経験や、助け合い、支えあいの精神を糧に、時代に即した運動スタイルを取り入れてポストコロナ社会を見据えた運動に取り組んでいかなければなりません。「2030年ビジョン」の実現にむけて、労福協、労働団体、福祉事業団体がこれまで以上に連携を深め、一丸となって取り組みを進めていきましょう。



希望を持ち前進
連合岩手
事務局長 鈴木圭

あけましておめでとうございます。

旧年中は連合岩手の取り組みにご理解とご協力を賜りましたことに感謝と御礼を申し上げます。

昨年からwithコロナの視点で対策を講じながら、連合が取り組むべき活動を「昨年より今年」の想いで前進を図りながら進めてきました。

昨今の円安や物価高により、私たち労働者や更に弱い立場にある方々の生活が大変厳しくなっています。外的要因による物価の上昇は国民が一丸となって乗り越えなければならない課題であり、企業は必要な経費を確りと価格転嫁し、労働者の賃金も確保することが必要です。

今こそ賃金引上げを社会的に対応し「くらしをまもり、未来をつくる。」を合言葉に、2023春闘をはじめ各種運動に希望を持って取り組み前進させましょう。

労働者の福祉に資する運動については、岩手県労働者福祉協議会と共に取り組み、種々の課題を一つひとつ乗り越えながら、勤労者のための活動を推進していく所存です。

今後の活動に対するご支援とご協力をお願い申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。



誰もが安心して生活できる社会の実現

平和環境岩手県センター
議長 佐藤 工

新年あけましておめでとうございます。

3年続いている新型コロナウイルス感染症は、未だ収束することなく経済活動への影響が続いています。

これまでの新自由主義グローバル経済の推進により国際的な生産システムが変化し、地域社会での食料・エネルギー自給率が下げられ、都市部への人口・企業の集中が進みました。そのため、自立した産業循環が破壊され、感染症に脆弱な構造となり経済社会の免疫力が弱まったと言えます。「コロナ禍」は利益・効率至上主義の現代の資本主義社会の矛盾を一層鮮明にしました。

平和環境岩手県センターは、「平和憲法の理念を活かし、平和と環境、基本的人権と民主主義を守り発展させるため、すべての労働者・生活者との連帯を強め、地域に根ざした運動を展開しよう」をスローガンに掲げ取り組みを進めています。

誰もが安心して生活できる社会の実現のため、皆さんと協力して進めて参りたいと思います。

2023年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



物価上昇に見合う賃金の改善と政策実現に向けて

岩手労友愛会
会長 山田 清秋

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染者が高止まりしつつも経済は回復基調となりました。しかし、ロシアのウクライナ侵攻による原油や穀物の供給不足に円安が加わり、エネルギー関係や食料品を中心に消費者物価が上昇しました。一方、私たち

労働者の実質賃金は、物価上昇に追い付かず一人当たり、時間当たりともに大幅な減少となりました。

岩手労友愛会に集う各労働組合は、組合員とその家族の生活を守るために、2023年労働条件闘争において物価上昇に見合う賃金の改善に取り組むとともに、社会全体への波及にもつなげていきたいと思います。

また、第20回統一地方選挙の年でもあります。安全で安心して暮らせる地域社会、魅力ある岩手県の実現に向けた政策実現活動も継続して全力で進めてまいります。

本年も、労働者、生活者のための活動を展開する岩手労友愛会をよろしくお願ひいたします。



福祉金融機関としての役割發揮へ

東北労働金庫岩手県本部
本部長 金田一 文 紀

ロシアのウクライナ侵攻に端を発する資源エネルギー・国際商品等の市況の上昇は世界的にインフレを招きました。日本でも円安と相まって、食品・日用品・光熱費等の相次ぐ値上げは、私たちの生活を脅かしています。また、成年年齢18歳への引き下げや70歳までの雇用機会確保など社会の変革に際し、「誰ひとり取り残さない金融包摶」実現に向けた取り組みは、ますます重要性を帯びています。

そのような情勢下でうきんは、コロナ禍における生活・家計支援を目的に、「生活応援運動」や「iDeCo・生活応援Wキャンペーン」といった取り組みを会員の皆様とともにに行ってまいりました。

昨年12月より、Web完結型ローンに新たに「教育ローン」と「無担保住宅ローン」の取り扱いを加えました。また、4月からは釜石支店に新たにローンセンター(LC)を開設、また各LCには

資産形成の専門家であるアセットプランナーを配置するなど、お客様の利便性の向上を図ってまいります。

本年も働く人のための生活応援バンク「ろうきん」をよろしくお願いします。



たすけあいの輪を むすぶ

こくみん共済 coop 岩手推進本部
本部長 佐藤伸一

岩手推進本部代表委員会、岩手労済生協理事会を代表し、新年のお慶びを申し上げます。

こくみん共済 coop は、昨年「中期経営政策2025 変革と創造」をスタートさせました。

環境が変化する中で、お役立ち発想と共創活動に新しいデジタル技術を取り入れた「新しいたすけあい」を創造実践するため、役職員一丸となって事業を推進してまいります。

「労働運動から生まれた労働者による労働者のための助け合いが労働者自主福祉運動」ですが「労働者自主福祉運動の成り立ちや理念についての認識は薄れ、次世代への継承が危ぶまれている」(月刊連合12月号)との指摘を関係者共通の課題として強く認識しながら、労働者の自主福祉活動強化に向け一層努力してまいります。

皆さまのご健勝をご祈念申し上げますとともに、事業推進への引き続きのご理解ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げ、年頭のご挨拶をいたします。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



皆様にとって身近でお役に立てる
共済になることをめざして
一般財団法人ハピネス共済会
理事長 佐藤淳一

新年のお慶びを申し上げますと共に、ハピネス共済会への皆様のご理解・ご協力に厚く感謝申し上げます。

さて、当共済会がスタートしてから、2023年度中の2024年2月には設立55周年を迎えることになります。この間、特に一般財団法人移行後は医療保険の入院給付を中心に保障の充実をめざし、団体型「ハピネス」・団体移行型（終身）「マイハピ」・個人型（終身）「ペっこぷらす」の制度改定を通じて、より一層皆様にとって身近でお役に立てる共済となるよう取り組んでまいりました。また、子会社の（株）きょうさいライフによる不動産事業等についても、お客様本位の視点で事業の充実を図ってきたところです。

今後とも、会報発行による会員の皆様との相互交流などもさらに充実させながら、身近で信頼される共済としてご利用いただけるよう、また、設立の趣旨である「労働者の福祉向上、県民の消費生活水準の向上」の実現に向け、役職員一同努力していく決意ですのでどうぞ宜しくお願ひいたします。



様々な相談に対応する 信用生協の取り組み

消費者信用生活協同組合
理事長 大坪勝利

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当組合ならびに当組合の事業・取り組みに対するご理解、ご支援ならびにご協力をいただき、誠にありがとうございます。

当組合は、組合員ならびに地域住民の暮らしを

支えることを目的とし、くらしの相談と貸付を行う生協として1969年より事業を続けております。

主に多重債務問題や生活資金の工面にお悩みを抱える方の相談が多くを占めておりましたが、コロナ禍となって以降、減収や非正規雇用の雇止めなどを背景とした生活困窮を訴える相談が増えました。さらに物価の高騰は私たちのくらしを直撃し、家計改善のフォローを必要とする家庭が今後増えてくると予想されます。

そのような社会環境下において当組合では、貸付事業を通して相談者の経済的向上を図る一方、多種多様な生活の悩みに対応するため、他の相談機関との合同相談会を随時開催するなど地域で連携した相談ネットワーク構築に力を入れていきます。

引き続き、組合員ならびに地域住民のくらしを支える相談貸付事業を中心として本年も事業を推進して参る所存でございますので、当組合に対するより一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

本年のみなさまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



安全・安心を第一とし、組合員に満足していただける学校生協に

岩手県学校生活協同組合
専務理事 沼田 聰

謹んで新春の祝詞を申し上げます。

昨年は平和の危機を身近に感じた一年でした。ロシアのウクライナ侵攻は原油高をはじめ、為替の大幅な円安と物価高を招き、北朝鮮の一連の行動は増税による防衛費の増額が検討され、真に平和の危機が暮らしの危機に直結することを改めて感じさせられました。

学校生協としても、新型コロナウイルス感染症の影響により、組合員と相对して事業推進を行う機会が著しく制限される中、事業による収入は減り、電気や車両燃料など固定費の支出が大幅に増加し、大変厳しい運営を余儀なくされた一年でした。

その一方で、社会貢献事業として、ファミリー月間やガソリン利用から拠出した支援金を沿岸4地区へ贈り、また、事業経費から教職員の研究活動の支援として7団体に助成を行いました。本年も、「安全・安心」を第一に、組合員に満足していただく事業とサービスの提供に努めるとともに、教職員や子どもたちに役だつ取り組みをすすめてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいいたします。

第16回 労福協文化講演会

感性・コミュニケーション
～男女脳差理解による組織力アップ講座

講師
黒川 伊保子
くろ かわ い ほ こ
人工知能研究者、感性アナリスト、随筆家

講師プロフィール

1959年、長野県生まれ。栃木県育ち。1983年奈良女子大学 理工学部 物理学科卒。ヒトと人工知能の対話研究の立場から、コミュニケーション・サイエンスの新領域を拓いた、感性研究の第一人者。脳の気分を読み解くスペシャリスト(感性アノリスト)である。コンピューターカーにてAI開発に携わり、男女の感性の違いや、ことばの発音が脳にもたらす効果に気づき、コミュニケーション・サイエンスの新領域を拓く。2003年、株式会社リサーチを設立。脳科学の知見をマーケティングに活かすコンサルタントとして現在に至る。特に、男女論議とネーミングの領域では黄色の存在となり、大塚製薬のSoJoy®はじめ多くの商品名に貢献。人間関係のライラカラセモヤモトにて「自からクロコ」の解決策をもたらす著作も多く、「妻のトリセツ」をはじめとするトリセツシリーズは累計で100万部を超える人気。

**先着200名
入場無料**
» 要整理券 «
整理券は「往復ハガキ」にてお申込みください。
(1枚の往復ハガキで1名分とします)
※整理券の受け付けは、2023年1月5日(木)から開始します。

期日
2023.2.18 土
岩手教育会館「多目的ホール」
[開場] 13:30 [開演] 14:00 [講演] 90分

お申込み方法
往復ハガキにてお申込みください。
尚、お申込みは1枚の往復ハガキで1名様分となります。

〒020-0022 盛岡市大通1丁目1-16 岩手教育会館 3F
一般社団法人岩手県労働者福祉協議会
第16回 労福協文化講演会係
まで、(氏名・郵便番号・住所・電話・性別・年齢)をご記入のうえ、お申込みください。

往信
返信ハガキの表面にお届け先を記入してください。
裏面には何も記入しないでください。

※いただいた個人情報は、整理券発送の為のみに使用いたします。

主催 / (一社) 岩手県労働者福祉協議会 お問い合わせ TEL 019-654-3082 FAX 019-651-5024 盛岡市大通1丁目1-16 岩手教育会館3F

共催 / 東北労働金庫岩手県本部、くみん共済 coop 岩手推進本部、(一財) ハビニス共済会、消費者信用生活協同組合、岩手県学校生活協同組合、連合岩手・平和環境岩手県センター、岩手友愛会
後援 / 岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、河北新報社、盛岡タイムズ社、岩手日日新聞社、NHK 盛岡放送局、IBC 岩手放送、テレビ岩手・めんこいテレビ・岩手朝日テレビ・エフエム岩手

[個人型・終身] ペっこぶらす

- 入院 □手術 □死亡
- 退院後通院(ケガ)
- 健康祝金

[団体型] ハピネス

- 入院 □手術 □死亡
- 退院後通院
(取扱いありの場合)

[移行型・終身] マイハビ

- 入院

「医療共済ハピネス」からの移行専用！

**岩手県民の暮らしに
いちばん近い保障でありたい**

ハピネス共済会

一般財団法人 ハピネス共済会

Tel 020-0821 岩手県盛岡市山王町10番6号 山王ハイツ
TEL 019-652-3195 • FAX 019-654-7262

0120-41-3816

岩手県学校生活協同組合

毎日の生活に必要な食品・日用雑貨をカタログで注文。
職場やご自宅に商品が届きます。

はじめませんか

共同購入 Week

※ご利用には岩手県学校生協への加入と共同購入利用の申込みが必要です。

■安全・安心をお届けします

生協で扱っている安全・安心な食料品、日用雑貨、衣類などの商品を衛生面に配慮してお届けします。

■毎週決まった曜日にお届けします

職場お届けの場合、祝日や職場のお休みにより配達曜日が変更になる場合があります。

岩手県学校生活協同組合 本部
フリーダイヤル 0120-112-246
受付時間：平日8:30～17:30

配達方法

職場・班へ配達（2人以上）
【配達料金は無料です】

便利な自宅配達（お一人で）
【配達料金】
1ヶ月381円（税抜）※税込419円

共同購入利用申込&お問い合わせフォーム

<https://www.igcoop.or.jp/>

**暮らしを支える
融資の生協**

**お金のこと
暮らしのこと
信用生協に
ご相談ください**

どのようなことについて
相談できるの?

借金の返済 生活費 税金や公共料金の支払
教育資金 車の購入資金 その他お金のこと

盛岡 ☎ 0120-101-245
岩手県盛岡市南大通1-8-7 CFCビル2階

北上 ☎ 0120-101-612
岩手県北上市大通り1-3-1北上開発ビル（おでんせプラザぐろーぶ）2階

釜石 ☎ 0120-101-965
岩手県釜石市中妻町1-4-20 第1豊後ビル1階

CFC 消費者信用生活協同組合
<https://www.cfc-ss.coop/>

詳しくは 信用生協

**ひとりで
悩んで
いませんか？**

☑ 生活相談 解決!!
☑ 労働相談 解決!!
☑ 金融関係 解決!!
☑ 保険関係 解決!!
☑ 法律関係 解決!!

秘密厳守

勤労者の皆さんの様々な悩み事やご相談に対応いたします。

■ 最寄りの相談窓口までお気軽にお電話ください ■

盛岡	… ☎ 0120-804-340
北上	… ☎ 0120-805-340
宮古	… ☎ 0120-807-340

ライフサポートセンターいわて が
あなたを応援します。 **相談無料**

相談日 月～金曜日の平日
時間 午前10:00～午後5:00

「ライフサポートセンターいわて」は、勤労者の皆さんの生活支援を目的として（一社）岩手県労働者福祉協議会を中心に、関係団体が協力して立ち上げた組織です。お気軽にお電話ください。

面談相談可

※専門家等に相談する場合は、別途料金がかかる場合があります。

LSC ライフサポートセンターいわて

(協力) 岩手労福協／東北労金／こくみん共済 coop／ハピネス共済会／信用生協／学校生協／連合岩手／平和環境県センター／岩手友愛会

Web完結型ローン

ご来店不要! ご記入不要! ご印鑑不要!

お申込みからご契約までWebで完結!

**東北ろうきん
20周年 プレキャンペーン**

期間 2022年12月9日～2023年3月31日

るうきんアンバサダー 高梨 臨

商品ラインナップの追加

QRコード

▲詳しくはこちら

教育ローン【Web完結型】^(※1) **無担保住宅ローン【Web完結型】** **マイカーローン【Web完結型】**

Web完結型ローンでご契約の方は

年1.70% 年0.2% 引下げ

東北ろうきんの住宅ローンをご利用^(※2)の方は、

年1.50%

フリーローン【Web完結型】

Web完結型ローンでご契約の方は

変動金利 団体会員の方 年3.40% 年0.2%引下げ

東北ろうきんの住宅ローンをご利用^(※2)の方は、

変動金利 団体会員の方 年3.20%

(※1) 教育ローン(カード型)はWeb完結型ローンの対象外となります。また、法的に婚姻関係のない同性パートナーのお子さまは対象外となります。
 (※2) 「住宅ローンご利用の方」とは、現在東北ろうきんの有担保住宅ローンをご返済中の方です。なお、過疎債務者の方も対象となります。

●カードローン・マイカーローンは本キャンペーンの対象外となります。●他金融機関からのお借換えや東北ろうきんの既存借入との合算したお申込みは行えません。また、事業資金・投機目的資金・負債整理資金にはご利用いただけません。
 ●審査の結果、ご融資できないなどご希望されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。●保証料は不要です。●金利構造の変動等により、お取扱期間内に適用金利や商品内容を見直す場合があります。●店頭または東北ろうきんホームページよりご返済額の試算が行えます。●店頭および東北ろうきんホームページに説明書をご用意しています。●Web完結型ローンは、店頭にてお申込みいただく商品・商品内容が異なります。詳しくは、フリーダイヤル(0120-1919-62)にお問い合わせください。東北ろうきんホームページをご確認ください。●本キャンペーンと同様のキャンペーンを今後も実施する可能性があります。

2022年12月9日現在

未来ある子どもたちを交通事故から守るために 横断旗を贈ろう!

取組期間 2022年6月1日～2023年5月31日

マイカー共済のお見積もり1件につき、横断旗を1本寄贈します。

ごくみん共済 coop は「7才の交通安全プロジェクト」の取り組みのひとつとして、
マイカー共済のお見積もり1件につき横断旗1本を全国の児童館をはじめ、
幼稚園、小学校、交通安全協会等へ寄贈してきました。
あなたもぜひ、この取り組みにご協力ください。

お見積もり方法 *あらかじめ、現在ご契約の「自動車保険証券(共済契約証券)」と「車検証」をご用意ください。

WEBで 「じっくり見積もり」ページへアクセスし、必要事項をご入力のうえ「申込手続き」ページにお進みください。

お電話で マイカー共済のお見積もりをご依頼ください。
お客様サービスセンター 0120-00-6031 受付時間 平日・土曜 9:00～17:00
(日曜・祝日・年末年始はお休み)
※受付時間が変更となる場合があります。

共済ショップで 共済ショップ お近くの共済ショップは左記から検索いただけます。

ごくみん共済 共済ショップ盛岡店 019-622-0631 共済ショップ北上店 0197-65-0160
全国労働者共済生活協同組合連合会 COOP 共済ショップ一関店 0191-26-2678 共済ショップ釜石店 0193-21-1122

岩手推進本部 (岩手県労働者共済生活協同組合)